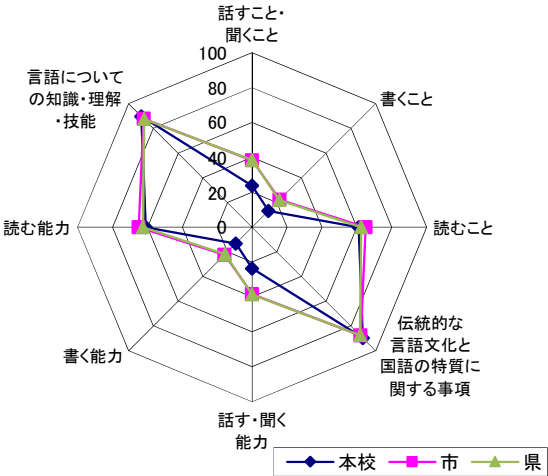


宇都宮市立白沢小学校 第5学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	23.7	38.3	38.5
	書くこと	13.2	22.3	21.9
	読むこと	61.0	65.0	62.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	89.7	87.8	87.5
観点	話す・聞く能力	23.7	38.3	38.5
	書く能力	13.2	22.3	21.9
	読む能力	61.0	65.0	62.5
	言語についての知識・理解・技能	89.7	87.8	87.5



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	●領域の平均正答率は23.7%で、県平均より14.8ポイント低い。 ●考えの根拠を示しながら筋道を立てて話す設問は、県平均より12.8ポイント低い。 ●考えの共通点や相違点を整理しながら聞く設問は、県平均より14.7ポイント低い。 ●話し合いにおいて司会者の役割を理解し、進行するという設問については、県平均より16.8ポイント低い。	・「話すこと」については、日頃の生活や学習の中で、考えの根拠を示し、筋道を立てて話す場面を意識的に設けることで、自分の意見を分かりやすく伝える指導を充実させていく。 ・学級活動における話し合い活動で、司会の役割を全員に経験させたり、グループでの話し合い活動を取り入れたりするなど表現力の育成に努める。
書くこと	●領域の平均正答率は13.2%で、県平均より8.7ポイント低い。 ●メモの内容をリーフレットにまとめて作成する力は、県平均よりも8.7ポイント低い。 ●時間配分や読み取りに時間を要し、最後まで問題に取り組めずに、無回答になった児童が多く見られた。	・リーフレットやパンフレットなど、様々な形態の文章を書く過程において、メモの作り方や文章の構成について細かに指導していく。 ・総合的な学習やその他の教科においても、文章を書く時間を設け、書く力の育成に努めていく。
読むこと	●領域の平均正答率は61.0%で、県平均より1.5ポイント低い。 ○文章から問題文に合う言葉を抜き出し、まとめる設問では、県の平均を6.7ポイント上回っている。 ○説明文では、目的に応じて中心となる語を捉えて設問に答える力が身に付いてきている。 ●中心となる語や文に注目して小見出しをつける設問は、県平均より13.2ポイント低い。 ●文章の要点や細かい点に注意して読み、言葉を引用する設問は、県平均より7.8ポイント低い。	・図書室や移動図書などを積極的に利用し、ジャンルにとらわれず多くの書物に触れさせることで、登場人物の心情を想像し、作者の意図を考えながら読むようにさせていく。 ・朝の学習や家庭学習の課題において、説明的な文章の読み方を繰り返し学習する活動を継続させていく。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○領域の平均正答率は89.7%で、県平均より2.2ポイント高い。 ○漢字の読み書きについては、県平均を1～2ポイント下回っている。 ○修飾語や接続語などの言葉の設問は、県平均より7.9ポイント高い。	・朝の学習や家庭学習の課題として、漢字の反復練習を継続的に取り入れ、定着を図る。 ・国語辞典や漢字辞典の辞書引きを推奨していく。